

事務事業名		観光振興支援員事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業								
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目								
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興												
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 26年度～30年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計	款	項	目	事業				
根拠法令				01	07	01	04	15						
所属	部課名	商工港湾部商業観光課												
	課長名	鈴木 弘												
	係名	観光物産係	電話	0192-27-3111										
	担当者	千田岳明	内線	104										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)								
■観光物産協会の人的体制を充実させ、大船渡市の観光振興につなげるため、26年度より5か年の事業として、観光振興支援員10名を雇用し、大船渡市の観光振興充実と、大船渡市観光物産協会の事業運営や事業体制の充実を図る。 また、本事業終了後までに、大船渡市観光物産協会の人員体制が独自の雇用等で運営できることを目標とする。 ■(一社)大船渡市観光物産協会に事務委託し、委託料として支出される。						総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金						
都道府県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	208,885													
事業費計(A)	208,885													
正規職員従事人数	1													
延べ業務時間	300													
人件費計(B)	1,200													
トータルコスト(A)+(B)	208,885													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
観光振興支援員10名を委嘱し、大船渡市の観光振興の向上を図るとともに、碓氷海岸を中心とした施設管理と観光案内を行なった。		ア	観光支援員が従事する主な事業数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	観光物産協会の自主事業
観光物産協会に委託し、観光振興支援員10名を委嘱。観光施設を活用した観光案内及び観光・物産振興事業。物産振興イベントの支援。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・大船渡市を訪れる観光客。 ・(一社)大船渡市観光物産協会		名称	
		単位	
		カ	日本の人口
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・大船渡市内の観光スポット・イベント等を紹介し、出来るだけ多くの観光客に大船渡市を知ってもらう。 ・大船渡市の国立公園の景観の素晴らしさを全国に発信し、保護と整備を充実する。・市内観光施設との連携を深め、受け入れ体制の充実もてなしの醸成を図る。		名称	
		単位	
		サ	大船渡市への観光入込客数
		シ	市内宿泊者数
		ス	観光物産協会ホームページアクセス数
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・魅力がPRされ、認知度が高まる。 ・大船渡市を訪れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円				32,856	41,777	41,777
	事業費計(A)	千円				32,856	41,777	41,777
人件費	正規職員従事人数	人				1	1	1
	延べ業務時間	時間				60	60	60
	人件費計(B)	千円				240	240	240
	トータルコスト(A)+(B)	千円				33,096	42,017	42,017
⑤活動指標	ア	件				11	11	12
	イ	件				2	3	5
	ウ							
⑥対象指標	カ	千人				127,064	126,880	126,880
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	千人				1,125	1,058	1,058
	シ	千人				514	394	394
	ス	万件				22	25	25

事務事業ID	0452	事務事業名	観光振興支援員事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	(一社)大船渡市観光物産協会の人的体制の充実を図り、大船渡市の観光振興を推進して行くため平成26年度より実施している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・東日本大震災の影響により、当市を訪れる観光客は震災前より減少していると思われる。 ・市では平成26年9月に大船渡市観光ビジョンを策定し、推進体制の中で(一社)大船渡市観光物産協会が実践の中心を担うこととなっている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	(一社)大船渡観光物産協会からは、事業期間終了後においても、引き続いて同様の支援について要望を受けている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	観光事業及び物産事業の振興を図っている大船渡市観光物産協会の充実を図り事業実施の支援を行なうことは、豊かな地域資源を活用した観光の振興を推進している市の政策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	大船渡市を訪れる観光客が増え、宿泊客の増加や観光消費の増加による市経済への波及効果が大きく期待できる。また情報発信を積極的に行なうことにより、全国に大船渡市と市内観光地、郷土料理、物産を広くPRできる。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	観光支援員を活用することにより、観光ポスター及びパンフレット、ホームページを充実させ、全国を対象として大船渡市の観光スポットやイベントを訪れようとする観光客にPRするとともに、市内観光施設と連携して受け入れ態勢を充実させることは、本事業の目的達成のための有効な手法であり対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	観光支援員を雇用し市内の観光地等に配置しているが、企画立案や事業運営について積極的に活動しているとは見られない。事業運営等についてのノウハウを習熟していないこともひとつの原因と考えられることから、研修機会等の充実と、民間企業等の支援を得ながら、職員個々のスキルアップを図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	大船渡市観光ビジョンにおいては、その推進にあたり(一社)大船渡市観光物産協会が実践の中心となって取り組むこととしていることから、本事業による支援員制度の継続は、必要である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】	26年度より、新たな事業として取り組んでおり、他に類似事業は現在のところない。
	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	観光振興を推進していくための人件費や、事務費となっていることから、削減は困難である。(年度末において委託費を精査し事業費を確定している)
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	必要最低限の人員で実施しているため、削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	当該事業は、(一社)大船渡市観光物産協会へ委託し、大船渡市の各種観光事業を推進する内容であり、公平・公正なものである。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>観光物産協会は体制の整備が課題となっていたが、平成26年度から人員の増加により、体制の強化が図られたところである。今後は事業推進のためのノウハウの習熟と、観光事業運営等の実行が必要となる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>観光支援員に対する研修機会等の充実。 観光行政に従事する者としての意識啓発。 物産協会の独立の検討。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>26年度より復興支援員を雇用することにより、体制的には効果的な収益事業を実施する基盤が出来てきている。今後は、事業への有効な取組みと、研修機会の確保による事業充実を図る必要がある。物産協会の独立を進めるための自主事業等の検討。観光支援員の勤務状況等の改善。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

2次評価者	商業観光課長	鈴木 弘
-------	--------	------

<p>4 事務事業の2次評価結果</p>																																		
<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>観光支援員(市観光物産協会職員)について、実務経験の積重ねや研修会等を通じて資質向上を図ることにより、成果の向上が期待できる。</p>																																	
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		●	×	低下		×	×
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上		○																															
	維持		●	×																														
	低下		×	×																														
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・現状どおり継続して事業を実施する。 ・(一社)観光物産協会に対しては、日常勤務はもとより、さまざまな機会を捉えて職員の資質向上を図るよう求めていく。</p>																																		

5 最終評価結果

<p>(1) 政策推進会議等での指摘事項</p>
